

毎日メトロポリタンアカデミー 定例会

講師および講演テーマ

回	開催日	講師肩書き	講師氏名(敬称略)	講演テーマ
1	1988.7	東京都知事	鈴木 俊一	「21世紀の東京」
2	1988.8	将棋十五世名人	大山 康晴	「勝負と人生とビジネス」
3	1988.9	アサヒビール社長	樋口 廣太郎	「いい商品、いい会社」
4	1988.10	評論家	扇谷 正造	「空気にツメを立てろ！ビジネスマンよ問題意識を持って！」
5	1988.11	東京大学教養学部教授	本間 長世	「米国新大統領と日本への影響」
		毎日新聞社論説委員長	斎藤 明	「日米摩擦の根源は何か」
6	1988.12	アジア調査会会長	大来 佐武郎	「1989年の経済動向と日本」
7	1989.1	プランタン銀座社長	石井 智恵子	「銀座文化と消費者の感性」
		自由民主党 衆議院議員	河野 洋平	「激変する世界の中の日本の役割」
8	1989.2	作家	深田 祐介	「大平洋圏の時代」
9	1989.3	自由民主党幹事長	安倍 晋太郎	「これからの政治課題」
		評論家	飯塚 昭男	「新天皇のお姿」
10	1989.4	東海銀行常務	水谷 研治	「今後の経済動向」
11	1989.5	東日本旅客鉄道社長	住田 正二	「JR東日本の現状と将来構想」
▲特別研究講座		鉄道総合技術研究所主幹	武田 宏	「リニア・モーターカーの実用化とは？」
		毎日新聞社論説委員	坂巻 熙	「21世紀のライフスタイル」
12	1989.6	医学博士・放送大学顧問	香月 秀雄	「生涯教育に果たす放送大学の役割」
▲特別研究講座		東京湾横断道路部長	藤井 寿明	「東京湾横断道路の建設技術と開発効果」
▲特別研究講座		京都産業大学法学部教授	小島 朋之	「中国はどこへ行く？」
13	1989.8	大蔵省事務次官	平沢 貞昭	「当面する財政の金融上の諸問題」
14	1989.9	東海大学病院長	五島 雄一郎	「成人病予防と食べ物の選び方」
		毎日新聞社論説委員	清水 幹夫	「激動する政局展望と秘話」
▲特別研究講座		レコフ・グループ代表	吉田 允昭	「日本におけるM&Aの実情と世界の状況」
15	1989.10	三井不動産会長	坪井 東	「東京湾ウォーターフロント開発の現状と将来展望」
		毎日新聞東京本社編集局次長	伊藤 光彦	「ヨーロッパの新たな底流」
16	1989.11	労働事務次官	白井 晋太郎	「労働需給見通しと外国人労働者問題」
		宗教評論家	ひろ さちや	「布施の心」
17	1989.12	ジャーナリスト	蔦 信彦	「歴史の大転換が始まった」
		日本サッカー協会副会長	岡野 俊一郎	「日本スポーツの復活なるか～バルセロナを目指す強化策～」
18	1990.1	前駐米大使	松永 信雄	「90年代の日米関係を展望する」
19	1990.3	青山学院大学教授	袴田 茂樹	「ゴルバチョフのペレストロイカ戦略を読む」
20	1990.4	駐日米国大使館・東京アメリカセンター副館長	クロス・チェスター	「今後の日米関係」
21	1990.5	衆議院議員	浜田 幸一	「混迷の政界を斬る」
22	1990.6	毎日新聞社論説顧問	諏訪 正人	「余録の執筆で見つめてきたもの」
23	1990.7	劇画原作者	小池 一夫	「力の時代から愛の時代へ」
24	1990.9	駐日大韓民国請公使	鄭 亨寿	「朝鮮統一問題の現状と大韓民国の立場」
25	1990.10	日本相撲協会理事長	二子山 勝治	「横綱への道 私の相撲人生」
26	1990.11	毎日新聞社外信部記者	岸本 卓也	「ドイツ統一・その日のベルリンから」
		毎日新聞社編集委員	前田 康博	「秘密のベールを脱いだ北朝鮮の素顔」

27	1990.12	中東調査会理事長	三宅 和助	「中東湾岸危機と日本の外交政策」
28	1991.1	ミュージシャン	吉屋 潤	「音楽を通してみた韓国と日本の文化」
29	1991.2	駐日ソ連公使	Y.D.グズネツォフ	「ペレストロイカと日ソ関係の展望」
30	1991.3	防衛大学教授	佐瀬 昌盛	「湾岸危機とソ連の危機」
31	1991.4	プロ野球評論家	堀内 恒夫	「プロ野球を10倍楽しむためのアプローチとペナント予想」
		スポーツ評論家	石川 泰司	
32	1991.5	東京外語大学教授	中嶋 嶺雄	「最近の中国の動向」
33	1991.6	衆議院議員	加藤 紘一	「ポスト海部首相と日本の国際社会での役割」
34	1991.7	月刊誌「東京人」編集長	粕谷 一希	「『東京人』編集長の見た東京(人)の姿」
35	1991.9	帝京技術科学大学教授	鳥井 守幸	「第三次宗教ブーム イエスの方舟、オウム真理教と幸福の科学」
36	1991.10	外交評論家	谷畑 良三	「ゴルバチョフ改革の方向とソ連の重い現実及び日ソ関係」
37	1991.11	毎日新聞社会部警視庁クラブキャップ	三木 賢治	「バブル経済事件報道最前線」
		毎日新聞社会部司法クラブキャップ	三浦 正己	
38	1991.12	衆議院議員	山口 敏夫	「宮沢新政権誕生の舞台裏」
		毎日新聞政治部部長	石上 大和	
39	1992.1	* ディナーショー	指笛: 田村大三、ドラマチックソプラノ: 山本静海	
40	1992.2	評論家	佐高 信	「バブル崩壊後の企業経営」
41	1992.3	東日本旅客鉄道副社長	松田 昌士	「JR東日本発足5年をふりかえって」
42	1992.4	元読売巨人軍監督	川上 哲治	「チームづくりとリーダーの役割」
43	1992.5	毎日新聞社特別編集委員	岩見 隆夫	「宮沢内閣と参院選の行方」
44	1992.6	白鷗大学教授	佐野 真	「極東・沿海州視察から見たソ連邦崩壊後の独立国家共同体(CIS)の現状と行方」
45	1992.7	作家	津本 陽	「歴史に学ぶ生きる極意・勝つ極意」
46	1992.9	作家・経済評論家	邱 永漢	「経済の先を読む」
47	1992.10	経済評論家	鈴田 敦之	「景気回復の行方を読む」
48	1992.11	TVキャスター	鳥越 俊太郎	「ニュースの裏表」
49	1992.12	衆議院議員	後藤田 正晴	「当面の政治課題」
50	1993.2	ノンフィクション作家	石川 好	「米国新大統領就任に伴う日米関係の行方」
51	1993.3	東武百貨店取締役社長	山中 鎖	「大転換期の企業経営」
52	1993.4	島根県出雲市長	岩國 哲人	「世界を見る、日本を変える」
53	1993.5	東京ファッションデザイナー協議会議長	太田 伸之	「市場に見る米国の変化」
54	1993.6	東洋信託銀行調査部顧問	神崎 倫一	「日本経済を考える」
55	1993.7	日本プロサッカーリーグチェアマン	川淵 三郎	「Jリーグの道」
56	1993.9	外務省顧問	小和田 恒	「激動する世界情勢と日本の役割」
57	1993.10	放送タレント	永 六輔	「ここが地球の真中です」
58	1993.11	野村総合研究所政策研究センター長	富田 俊基	「日本の経済改革」
59	1993.12	日本ハムファイターズ監督	大沢 啓二	「私の野球人生」
60	1994.2	毎日新聞社編集委員	岸井 成格	「時代の変化と細川政権の命運」
61	1994.3	山一証券経済研究所特別顧問	吉野 俊彦	「この不況を克服する道」
62	1994.4	ハドソン研究所首席研究委員・ハーバード大学タウブマセンター諮問委員	日高 義樹	「クリントン政権のハイディフィニションテレビ政策とアメリカのデジタル放送の見通し」
63	1994.5	ボストン・コンサルティング・グループ社長	堀 紘一	「ホワイトカラー改造計画」
64	1994.6	日本商工会議所会頭	稲葉 興作	「日本の製造業の課題」
65	1994.7	ジャーナリスト	蔦 信彦	「激動の政局・経済・世界ーサミットから帰ってー」
66	1994.9	毎日新聞社論説委員	重村 智計	「金正日の北朝鮮と、国際関係のこれから」

67	1994.10	東京相和銀行顧問、作家	山田 智彦	「新しい指導者(リーダー)の条件」
68	1994.11	国立大阪病院院長、東京大学名誉教授	古川 俊之	「人は不死にあらず」
69	1994.12	衆議院議員	栗本 慎一郎	「栗本慎一郎政治を語る」
70	1995.2	東京大学名誉教授、慶応大学教授	石井 威望	「21世紀のライフライン」
71	1995.3	東京女子大学	広瀬 弘忠	「災害心理学からみた阪神・淡路大震災」
72	1995.4	白鷗大学教授	福岡 政行	「激動の時代を読む 選挙での政治はどう変わるか」
73	1995.5	弁護士、さわやか福祉財団理事長	堀田 力	「部下の知恵を引き出そう」
74	1995.6	NHKプロ野球解説者	森 祇晶	「勝ち続けるためには」
75	1995.7	実践女子大学教授・国際パフォーマンス学会理事長	佐藤 綾子	「新しい日本人のパフォーマンス」
76	1995.9	東京女子医大青山病院院長・教授	木全 心一	「ビジネスマンの健康学」
77	1995.10	毎日新聞社論説委員	玉置 和宏	「よみがえるのか日本経済」
78	1995.11	一橋大学教授、経済学者	野口 悠紀雄	「超・整理法について」
79	1995.12	作家	ジェームス三木	「吉宗と現代」
80	1996.2	東大名誉教授、評論家	木村 尚三郎	「21世紀は始まっているーどう生きたらいいか」
81	1996.3	政治評論家	細川 隆一郎	「衆議院は解散しろ！」
82	1996.4	作家	童門 冬二	「歴史に見る経営改革」
83	1996.5	毎日新聞社会部編集委員	佐藤 健	「イチロー物語に見る現代のヒーロー像」
84	1996.6	ファッションプロデューサー	石津 謙介	「ファッションは着ることではない」
85	1996.7	「広告批評」発行人	天野 祐吉	「広告のある風景」
86	1996.9	東日本旅客鉄道取締役会長	山之内 秀一郎	「情報化社会とJR」
87	1996.10	経営評論家	江坂 彰	「勝つ人事 負ける人事」
88	1996.11	毎日新聞社論説委員	菊池 哲郎	「脱経済主義のススメ・日本の未来」
89	1996.12	ジャーナリスト	カレル・ヴァン・ウォルフレン	「日本の政治システムはこのまま続けられるのか」
90	1997.2	元駐ロシア大使	枝村 純郎	「冷戦後の世界と“こころ”の外交」
91	1997.3	千葉大学名誉教授	多湖 輝	「ビジネスの心理法則」
92	1997.4	船井総合研究所組織運営本部長	船井 勝仁	「船井流経営法」
93	1997.5	毎日新聞編集局顧問	岩見 隆夫	「今後の政局と日本の将来」
94	1997.6	早稲田大学教授	吉村 作治	「ピラミッドの謎」
95	1997.7	作家	佐木 隆三	「法廷のなかの人生」
96	1997.9	東海大学助教授	葉 千栄	「中国は朱鎔基の時代に向かう」
97	1997.10	毎日新聞社編集委員	黒岩 徹	「ダイアナ元妃の悲劇とイギリス社会」
98	1997.11	経済評論家	R.ターガート・マーフィー	「ビッグバンと日本経済の本当の話」
99	1997.12	食文化研究家	永山 久夫	「笑って長生き・不老食入門」
100	1998.2	衆議院議員・元内閣総理大臣	中曽根 康弘	「戦後政治と新時代の展望」
101	1998.3	毎日新聞社論説委員	重村 智計	「金大中政権後の朝鮮半島と日本」
102	1998.3	三菱総合研究所相談役	牧野 昇	「21世紀はそれからどうなるか」
103	1998.4	野球評論家	伊東 一雄	「野球は楽し～大リーグの魅力とドラフトうら話」
104	1998.5	医学博士	今井 通子	「自然から学んだ健康法」
105	1998.6	参議院議員	佐藤 道夫	「法と政治と常識と～政・官・財の腐敗防止について」
106	1998.7	三和総合研究所理事長	原田 和明	「日本経済の展望と金融ビッグバン」
107	1998.9	元サッカー日本代表監督	加茂 周	「サッカーにみる日本と世界」
108	1998.10	政治評論家	三宅 久之	「政局の動向と期待される指導者像」
109	1998.11	毎日新聞社特別編集委員	原 剛	「経済を改革する環境問題」

110	1998.12	作家、経済評論家	佐高 信	「いま、日本を読む」
111	1999.2	評論家	浅井 信雄	「クリントンとイラク、北朝鮮」
112	1999.3	作家	嵐山 光三郎	「いい温泉、悪い温泉」
113	1999.4	早稲田大学教授	加藤 諦三	「現代人と心の病」
114	1999.5	毎日新聞社論説副委員長	中村 啓三	「政界再編の動きと政局」
115	1999.6	経営コンサルタント、ファーストキッチン・日本サブウェイ元社長	藤居 譲太郎	「ニーズを捉える事業展開」
116	1999.7	コリア・リポート編集長	辺 真一	「どうなる北朝鮮と日本」
117	1999.9	弁護士	伊藤 芳朗	「昨今のオウム真理教騒動と社会の課題」
118	1999.10	作家	山田 智彦	「不況に強い経営」
119	1999.11	毎日新聞サイバー編集部長	村田 昭夫	「インターネットの未来とビジネス展望」
120	1999.12	医学博士、文学博士	荒井 保男	「医の名言から学ぶ高齢化社会の生き方について」
121	2000.2	女優	市毛 良枝	「一歩、一歩」
122	2000.3	教育評論家	宮川 俊彦	「あぶない親、変な子、困った社会人」
123	2000.4	シェラトン・グランデ・トーキョーベイホテル取締役副総支配人	三浦 至	「『二番煎じ』のお茶は『一番煎じ』のお茶を超えられない」
124	2000.5	毎日新聞社論説委員	松田 喬和	「今後の政局の行方」
125	2000.6	一橋大学イノベーション研究センター教授・センター長	米倉 誠一郎	「21世紀の経営革命」
126	2000.7	元内閣官房内閣広報官	宮脇 磊介	「情報技術革命時代における指導者の役割ーサイバーテロリズム」
127	2000.9	経営コンサルタント、ジャーナリスト	河野 實	「IT時代の勝ち組企業の条件」
128	2000.10	東京学芸大学助教授	山田 昌弘	「パラサイト・シングル出現とその影響」
129	2000.11	毎日新聞科学環境部副部長	瀬川 至郎	「インターネットからゲノムまでリセット社会・米国の強さと弱さ」
130	2000.12	日本証券経済研究所主任研究員	紺谷 典子	「日本経済再生のシナリオ」
131	2001.2	東日本旅客鉄道社長	大塚 陸毅	「JR東日本の今後のグループ戦略」
132	2001.3	マンガ家	はら たいら	「平成乱気流」
133	2001.4	弁護士	牧野 二郎	「E-ビジネス 新時代の到来 電子署名・電子認証制度を活かすために」
134	2001.5	ベンチャーマトリックス会長	板倉 雄一郎	「ベンチャービジネスの光と影～失敗のケーススタディー」
135	2001.6	マツモトキヨシ会長	松本 和那	「マツキヨの軌跡と21世紀の販売戦略(ライフスタイルソリューション)」
136	2001.7	毎日新聞社編集委員	岸井 成格	「小泉内閣と参院選の行方」
137	2001.9	青山学院大学政経学部教授	池井 優	「日米野球比較論ー何故イチローは大リーグで活躍できるか」
138	2001.10	特許庁長官	及川 耕造	「特許における国際化とこれからのヘルスケア」
139	2001.11	東京女子医大名誉教授	桜井 靖久	「医療技術の進歩とこれからのヘルスケア」
140	2001.12	毎日新聞社論説委員長	中村 啓三	「小泉政権の課題と政局の行方」
141	2002.2	淑徳大学教授	北野 大	「エネルギーと環境問題」
142	2002.3	三和総合研究所主席研究員	森永 卓郎	「変化の時代の企業経営」
143	2002.4	水産庁資源管理部参事官	小松 正之	「歴史から見たクジラ紛争」
144	2002.5	元サッカー強化委員長	加藤 久	「サッカーからみる日本と世界」
145	2002.6	毎日新聞社論説委員	金子 秀敏	「激動する中国の読み解き方」
146	2002.7	三井物産戦略研究所所長	寺島 実郎	「時代の深層底流を読む」
147	2002.9	慶応大学教授	榊原 英資	「今後の日本経済、世界経済について」
148	2002.10	パナソニック代表取締役グループ代表	南部 靖之	「自立型社会がやってくる」
149	2002.11	毎日新聞政治部長	山田 孝男	「小泉政権の今後」
150	2002.12	映画評論家	水野 晴郎	「我が映画人生」
151	2003.2	東洋英和女学院教授	河野 友信	「ライフスタイルとストレス」
152	2003.3	特定失踪者問題調査会代表	荒木 和博	「拉致問題の本質と日本」

153	2003.4	GKデザイン機構代表取締役会長	栄久庵 憲司	「迎賓の心」
154	2003.5	早稲田大学大学院公共経営研究科教授	植草 一秀	「日本経済の現状と展望」
155	2003.6	国際政治・軍事アナリスト、危機管理総合研究所 所長	小川 和久	「国際水準からみた日本の危機管理」
156	2003.7	ツカサ代表取締役社長	川又 三智彦	「1000億円を失って知った価値の根源」
157	2003.9	毎日新聞編集局次長	伊藤 芳明	「イラク戦争後の世界」
158	2003.10	日本バレーボール協会女子強化副委員長	河西 昌枝	「バレーボールと私ー私の歩んだ道」
159	2003.11	シリウス・インスティテュート代表取締役	船橋 晴雄	「今、なぜ企業倫理かー長寿企業に学ぶ」
160	2003.12	政治評論家	三宅 久之	「自民・民主二大政党下の政局を読む」
161	2004.2	前衆議院議員	相沢 英之	「景気はどうなる」
162	2004.3	毎日新聞学芸部編集委員	荒井 魏	「天下人の自由時間に学ぶ」
163	2004.4	歌手	千葉 紘子	「子供たちのサインを見逃さないで」
164	2004.5	毎日新聞専門編集委員	牧 太郎	「表現の自由 ここだけの話」
165	2004.6	KPMGファイナンシャル社長	木村 剛	「情報漏洩リスクの前に考えておくべきこと」
166	2004.7	毎日新聞専門編集委員	松田 喬和	「参院選の行方とその後の政局展望」
167	2004.9	学習院大学名誉教授	篠沢 秀夫	「皇室は皆で守る文化財」
168	2004.10	毎日新聞運動部副部長	堂馬 隆之	「躍進アテネ五輪から見たスポーツ界の光と影」
169	2004.11	北アルプス燕山荘社長	赤沼 健至	「自然から学ぶ登山の魅力」
170	2004.12	健康科学大学学長	折茂 肇	「健やかな老いをむかえるためには」
171	2005.2	野球解説者	廣岡 達朗	「私の野球人生」
172	2005.3	作家	落合 恵子	「いのちの感受性2005」
173	2005.4	税理士	森谷 和雄	「大増税時代を迎えて」
174	2005.5	旅行作家	野口 冬人	「高齢化社会における温泉と旅」
175	2005.6	毎日新聞横須賀通信部	網谷 利一郎	「日中友好と小泉首相」
176	2005.7	衆議院議員	下村 博文	「日本のアイデンティティー」
177	2005.9	江戸東京博物館館長	竹内 誠	「江戸に学ぶ暮らしと文化」
178	2005.10	東海大学教授、国際柔道連盟理事	山下 泰裕	「人を育てる・人に育てられる～柔道を通して学んだこれからの生き方～」
179	2005.11	小澤酒造社長	小澤 順一郎	「日本人の生活と日本酒」
180	2005.12	毎日新聞夕刊編集部	鈴木 琢磨	「ポスト金正日の深層」
181	2006.2	東京農業大学教授、元衆議院議員	栗本 慎一郎	「脳梗塞からの生還」
182	2006.3	映画監督	井筒 和幸	「俺の映画人生」
183	2006.4	スポーツコメンテーター	舞の海 秀平	「決してあきらめない」
184	2006.5	毎日新聞社専門編集委員	牧 太郎	「大きな声では言えない2006年」
185	2006.6	明治大学教授、経済評論家	高木 勝	「どうなる日本経済ーポスト小泉の経済課題」
186	2006.7	童話作家、絵本作家	角野 栄子	「ファンタジーの生まれるときー見える世界と見えない世界」
187	2006.9	鶴見大学文学部教授	関 幸彦	「人事の日本史」
188	2006.10	コンディショニング・ディレクター	立花 龍司	「日米プロ野球の監督に学ぶリーダーシップ」
189	2006.11	塩研究科	佐藤 秀夫	「塩と人類のかかわりと未来」
190	2006.12	東洋大学経済学部教授	白石 真澄	「少子化時代の企業経営」
191	2007.2	スポーツキャスター	大林 素子	「マイドリーム」
192	2007.3	ソプラノ歌手	大滝 てる子	「昭和の心を歌い継ぐ」(演歌と歌唱)
193	2007.4	毎日新聞社論説委員	松田 喬和	「参院選と政局の行方」
194	2007.5	ヘリテージング研究所所長	阿曾村 孝雄	「ヘリテージングほど面白い観光はない」
195	2007.6	放送大学教授	宮本 みち子	「現代のニート問題を考える」

196	2007.7	自由学園最高学部長	鈴木 春男	「高齢者の交通安全問題について」
197	2007.9	女優	富士 真奈美	「俳句は愉しい」(石寒太氏とのトークショー)
198	2007.10	さいたま家裁 判事	坂野 征四郎	「司法と市民生活・市民参加」
199	2007.11	帯津三敬病院名誉院長	帯津 良一	「21世紀の養生一場と旅情」
200	2007.12	東日本旅客鉄道社長	清野 智	「国鉄改革から20年、JR東日本の進む方向」
201	2008.2	プロスケーター	渡部 絵美	「夢をかなえる」
202	2008.3	アジア教育友好協会理事長	谷川 洋	「私のボランティア人生ーアジアに学校をつくり国際交流を支援する」
203	2008.4	毎日新聞外信部編集委員	飯島 一孝	「ロシア『帝国の逆襲』」
204	2008.5	作家	嵐山 光三郎	「下り坂繁盛記」
205	2008.6	草津町長	中澤 敬	「歩み入る者にはやすらぎを 去りゆく人には幸せを～地域ブランディングの取り組み」
206	2008.7	ジャーナリスト	福沢 恵子	「女性社員のモチベーションを上げる秘訣」
207	2008.9	毎日新聞政治部編集委員	小菅 洋人	「政権のゆくえ～激動する政治の世界」
208	2008.10	経済評論家、公認会計士	勝間 和代	「勝間和代の日本を変えよう」
209	2008.11	帯津三敬病院名誉院長	帯津 良一	「予感と直感で人生を何倍にも生きる」
210	2008.12	フォトジャーナリスト	長倉 洋海	「シルクロード6万キロ 出会った人と風景」
211	2009.2	東洋大学教授、元内閣参事官	高橋 洋一	「百年に一度でやるべきこと」
212	2009.3	ゴルフプロデューサー	戸張 捷	「ゴルフトーナメントの舞台裏」
213	2009.4	元床山	床寿	「大銀杏を結いながら」
214	2009.5	ソフトバンク社長室長、元衆議院議員	嶋 聡	「政から民の国富論」
215	2009.6	新日鐵顧問、前駐中国大使	阿南 惟茂	「最近の中国情勢と日中関係」
216	2009.7	銀座テラー社長	鰐淵 美恵子	「“老舗企業”再生への挑戦」
217	2009.9	毎日新聞社論説委員	与良 正男	「政治の行方」
218	2009.10	東京ガス西山経営研究所所長	西山 昭彦	「ミドルの自己開発戦略」
219	2009.11	帯津三敬病院名誉院長	帯津 良一	「他力と自力の統合ーワルシャワからの報告」
220	2009.12	作家、日本芸術院院長、元文化庁長官	三浦 朱門	「私が映画を好きになった時」
221	2010.2	マンダリンオリエンタル東京初代総料理長	山本 秀正	「暴走族だった僕が大統領シェフになるまで」
222	2010.3	国際経営コンサルタント	長谷川 和廣	「厳しい経営環境を生き抜くために～リーダーは何をすべきか」
223	2010.4	住宅金融支援機構理事長	島田 精一	「仕事に必要な言葉」
224	2010.5	インサイドライン編集長	歳川 隆雄	「鳩山政権の行方と『五月危機』」
225	2010.6	ピアニスト辻井伸之氏の母	辻井 いつ子	「明るく、楽しく、そして諦めない」
226	2010.7	早稲田大学大学院教授	北川 正恭	「国と地方～社会全体のつくり直し～」
227	2010.9	エコノミスト誌編集長	内野 雅一	「苦節30年、日本経済の夜明け」
228	2010.10	声楽家	中島 啓江	「生きる力」
229	2010.11	帯津三敬病院名誉院長	帯津 良一	「青雲の志を抱いて生きる」
230	2010.12	野球解説者	中畑 清	「中畑清 熱き野球人生を語る」
231	2011.2	登山家	小西 浩文	「生き残る技術」
232	2011.3	毎日新聞主筆	岸井 成格	「菅内閣の行方と政局」
※第232回は東日本大震災のため中止				
233	2011.4	映画字幕翻訳家	戸田 奈津子	「字幕の中に人生」
234	2011.5	金子みすゞ記念館館長	矢崎 節夫	「今、こたますときー金子みすゞのまなざしー」
235	2011.6	稲作専業農家	面川 義明	「宮城の百姓が語る！食と農」
236	2011.7	NPOグループ藤理事長	鷲尾 公子	「市民事業と福祉マンション」
237	2011.9	前浦和レッズGM	柱谷 幸一	「チームマネジメント」

238	2011.10	ケミカルジャパン代表取締役	武田 一弘	「誰も知らないごみ袋の話」
239	2011.11	放射線医学総合研究所	神田 玲子	「放射線を意識するこれからの生活」
240	2011.12	悪徳商法被害者対策委員会会長	塚 次夫	「悪徳商法はなぜなくならない!?～あなたは見抜く自信がありますか」
241	2012.2	毎日新聞社論説副委員長	与良 正男	「政治の行方」
242	2012.3	大船渡商工会議所会頭	齊藤 俊明	「震災からの復興」
243	2012.4	法政大学元総長	清成 忠男	「事業構想力をつけよう」
244	2012.5	早稲田大学スポーツ科学部教授	太田 章	「自分の限界は自分が決める」
245	2012.6	将棋九段、十七世名人資格者	谷川 浩司	「常識を超える一手を」
246	2012.7	グラフィックデザイナー	天野 幾雄	「複眼の時代－時計の振子のように対立するふたつの概念はつながっている－」
247	2012.9	毎日新聞社主筆	岸井 成格	「混迷政治と日本の行方」
248	2012.10	岩手県住田町長	多田 欣一	「大震災は我々に何を伝えたのか」
		三陸鉄道社長	望月 正彦	「よみがえる三陸地域・三陸鉄道」
249	2012.11	豊島区長	高野 之夫	「安全安心な文化都市 としま」をめざして 一つなごう未来へ わたしたちの夢
250	2012.12	東日本旅客鉄道社長	富田 哲郎	「第二の出発点を迎えたJR東日本がめざす未来」
251	2013.2	毎日新聞論説室専門編集委員	金子 秀敏	「尖閣問題と今後の日中関係」
252	2013.3	NPO法人子どもの村東北理事長	飯沼 一宇	「3・11から2年 あの時、そして今」
253	2013.4	東武百貨店会長、根津美術館館長	根津 公一	「百貨店経営と美術館経営」
254	2013.5	女優、ガラスデザイナー	川上 麻衣子	「スウェーデンから。三陸へ。－女優(わたし)の道」
255	2013.6	毎日新聞東京本社 編集編成局経済部長	松木 健	「どうなる アベノミクス」
256	2013.7	インサイドライン編集長	歳川 隆雄	「参院選挙と安倍長期政権の見通し」
257	2013.9	漫画家、トキワ荘通り協働プロジェクト	桐木 憲一	「トキワ荘通りから世界を描く 縁(えん)」
258	2013.10	元東京都副知事、明治大学大学院教授	青山 侑	「オリンピックと東京」
259	2013.11	西武ホールディングス社長、西武鉄道会長	後藤 高志	「西武鉄道100年の歩みと今後」
260	2013.12	青森大学教授、エッセイスト	見城 美枝子	「十年(とおねん)とって四捨五入」
261	2014.2	日本マイクロソフト エバンジェリスト	太田 寛	「全てがつながる － Internet of Things の世界」
262	2014.3	詩人	和合 亮一	「ふるさとをあきらめないということ ～震災から3年、これからの『詩の礎(つぶて)』～」
263	2014.4	毎日新聞政治部特別編集委員	山田 孝男	「安倍政権と日本の針路」
264	2014.5	日本サッカー協会 名誉会長	小倉 純二	「DREAM～夢があるから強くなる～」
265	2014.6	天台宗東北大本山中尊寺貫首	山田 俊和	「生かされている、生きている。」
266	2014.7	琉球新報編集局次長兼報道本部長	松元 剛	「沖縄・基地問題の虚実～命の二重基準と経済」
267	2014.9	農林漁業成長産業化支援機構社長	大多和 巖	「農林漁業成長産業化ファンドが目指すもの」
268	2014.10	東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者健康増進事業支援室長	大淵 修一	「足腰の健康寿命を延ばす生活習慣」
269	2014.11	ガーデンデザイナー	吉谷 桂子	「イギリスに学ぶ 花と緑のある街づくり」
270	2014.12	神戸大学大学院国際協力研究科教授	木村 幹	「今、日韓関係を考える」
271	2015.2	加賀屋中女将	長谷川 明子	「加賀屋に息づく『もてなしの心』～北陸新幹線開業を前に～」
272	2015.3	福島県浪江町長	馬場 有	「浪江町の被災状況及び復興への課題」
273	2015.4	日本レストランエンタプライズ(NRE)執行役員	高橋 園子	「新幹線の新たなグレード グランクラス」
274	2015.5	毎日新聞外信部副部長(前ソウル特派員)	澤田 克己	「特派員の目で見た日韓関係の現状と背景」
275	2015.6	東京都知事	舛添 要一	「知事になって分かったこと～東京の課題と未来像」
276	2015.7	作家	保阪 正康	「戦後70年と安倍政権」
277	2015.9	スポーツプロデューサー	三屋 裕子	「強い選手の育て方」
278	2015.10	日本総合研究所主席研究員	藻谷 浩介	「漂流するアベノミクスと、いま本当に必要なこと」

279	2015.11	紀伊國屋書店社長	高井 昌史	「村上春樹『職業としての小説家』を買い切った理由」
280	2015.12	競馬評論家	井崎 脩五郎	「競馬は世をうつす鏡」(鈴木淑子さんとのトーク)
281	2016.2	酒場詩人	吉田 類	「吉田類の『酒と酒場とふれあいと』」
282	2016.3	宮城県知事	村井 嘉浩	「3.11から5年 『これまで』と『これから』」
283	2016.4	エコノミスト、法政大学教授	水野 和夫	「マイナス金利と資本主義の行方～経済の大局を読む」
284	2016.5	株式会社モンベル会長、冒険家	辰野 勇	「夢と冒険 モンベルの軌跡」
285	2016.6	順天堂医院院長	天野 篤	「プロフェッショナルの条件」
286	2016.7	ホッピービバレッジ社長	石渡 美奈	「ホッピーが復活したのはなぜ？」
287	2016.9	東京大学名誉教授	御厨 貴	「安倍政権は今後どうなるか」
288	2016.10	立教大学総長	吉岡 知哉	「立教大総長が語る『考える力』」
289	2016.11	伊藤忠商事前会長、元駐中国大使	丹羽 宇一郎	「企業経営の神髄 いま伝えたいこと」
290	2016.12	将棋棋士・三冠	羽生 善治	「AI(人工知能)時代の行方」
291	2017.2	外交ジャーナリスト	手嶋 龍一	「トランプ劇場 どう動く世界の歯車」
292	2017.3	東横イン社長	黒田 麻衣子	「全館満室への軌跡～2015年5月2日世界記録達成」
293	2017.4	精神科医	香山 リカ	「ストレスとの上手な付き合い方」
294	2017.5	KADOKAWA会長	角川 歴彦	「私が考える近未来～メディアは再定義される」
295	2017.6	気象予報士	天達 武史	「人に話したくなる天気の本ミツ」
296	2017.7	東京都知事	小池 百合子	「新しい東京 私はこう舵を取る！」
297	2017.9	東京大学准教授	池内 恵	「イスラム国はどこへ行った」
298	2017.10	将棋棋士	杉本 昌隆	「師匠が語る、藤井聡太という才能」
299	2017.11	日本総合研究所会長、多摩大学学長	寺島 実郎	「2017年秋 世界の潮流と日本の選択肢」
300	2017.12	京都大学iPS細胞研究所所長	山中 伸弥	「iPS細胞がひらく新しい医学」
301	2018.2	RIZAPグループ社長	瀬戸 健	「人は変わる」
302	2018.3	元総務相、前岩手県知事	増田 寛也	「人口減少社会の衝撃と処方箋」
303	2018.4	ジャーナリスト、拓殖大学教授	富坂 聡	「習近平の中国はどこへ向かうのか」
304	2018.5	前日銀政策委員会審議委員	木内 登英	「日銀の金融緩和と出口戦略」
305	2018.6	毎日新聞記者(北朝鮮ウオッチャー)	鈴木 琢磨	「金正恩の外交ゲーム」
306	2018.7	東日本旅客鉄道社長	深澤 祐二	「JR東日本グループの経営ビジョン」
307	2018.9	東京大学地震研究所教授	平田 直	「首都直下地震に備える」
308	2018.10	日本陸連マラソン強化戦略プロジェクトリーダー	瀬古 利彦	「心で走る～マラソン日本復活への道」
309	2018.11	神戸松蔭女子学院大学教授	楠木 新	「定年後 人生は後半戦が勝負」
310	2018.12	解剖学者、東京大学名誉教授	養老 孟司	「養老孟司が今、伝えたいこと」
311	2019.2	群馬県大泉町長	村山 俊明	「多文化共生の現実と課題—地域住民としての対応について」
312	2019.3	兵庫県立大学理事長	五百旗頭 真	「平成 震災の記憶」
313	2019.4	落語家 歌人	古今亭 志ん輔 三枝 昂之	「落語と歌で締めくる さよなら平成30年」
314	2019.5	作家	北 康利	「カリスマ創業者に学ぶ危機に強い経営」
315	2019.6	元衆院議員、新党大地代表	鈴木 宗男	「北方領土交渉の舞台裏」
316	2019.7	東京大学名誉教授	上野 千鶴子	「女がニッポンを変える」
317	2019.9	東京大学附属病院准教授	中川 恵一	「がんとのかき合い方」
318	2019.10	国立天文台教授	本間 希樹	「ついに見えた！ブラックホール」
319	2019.11	思想家	内田 樹	「生きづらい時代を生きる」
320	2019.12	コピーライター	仲畑 貴志	「万能川柳にみる平成から令和へ」

321	2020.2	歴史学者、静岡大学名誉教授	小和田 哲男	「戦国武将にみるリーダーの条件」
322	2020.5	野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト	木内 登英	「コロナショックとニッポンの未来」
323	2020.6	作家	池澤 夏樹	「文明、疫病、南極」
324	2020.7	京都大学総長、日本学術会議会長	山極 寿一	「ポストコロナをどう生きるか」
325	2020.9	人工知能研究者、エッセイスト	黒川 伊保子	「妻のトリセツ、夫のトリセツ」
326	2020.10	将棋名人	渡辺 明	「名人までの道」
327	2020.11	日本総合研究所国際戦略研究所理事長	田中 均	「米中対立と日本」
328	2020.12	経済ジャーナリスト	荻原 博子	「コロナ時代の家計引きしめ術」
329	2021.1	毎日新聞論説委員	元村 有希子	「科学の現在」
330	2021.2	作家・元外務省主任分析官	佐藤 優	「ウィズコロナ、アフターコロナの国際関係」
331	2021.3	ジャーナリスト	池上 彰	「一気にわかる 池上彰の世界情勢2021」
332	2021.4	日本オリンピック委員会理事、筑波大学教授	山口 香	「スポーツの力」
333	2021.5	政治学者、東京大学名誉教授	姜 尚中	「生きるコツ」
334	2021.6	東京大学先端科学技術研究センター教授	西成 活裕	「渋滞を防ぐ、密を防ぐ」
335	2021.7	経済思想家、大阪市立大学准教授	斎藤 幸平	「資本主義の未来」
336	2021.8	行政学者、中央大学名誉教授	佐々木 信夫	「東京はようになる」
337	2021.9	防災システム研究所所長	山村 武彦	「感染症と自然災害から身を守る」
338	2021.10	政治アナリスト	伊藤 惇夫	「自民党総裁選から衆院選へ」
339	2021.11	将棋九段、十七世名人資格者	谷川 浩司	「藤井聡太四冠と将棋の未来」
340	2021.12	ジャーナリスト	田原 総一郎	「堂々と老いる」